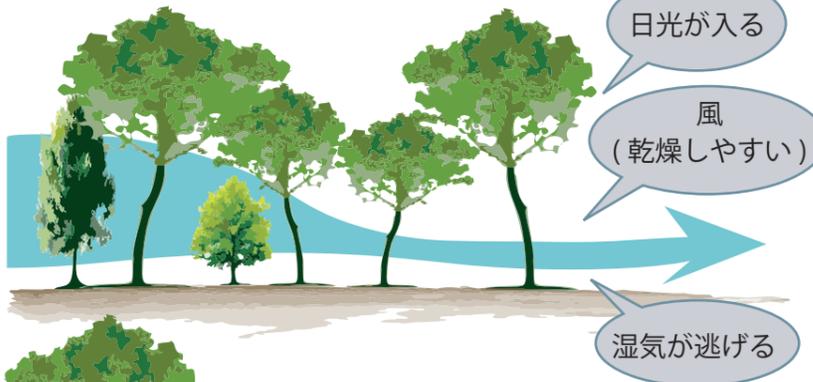


## 植生回復パート2 ～森ぎわ・道ぎわ～

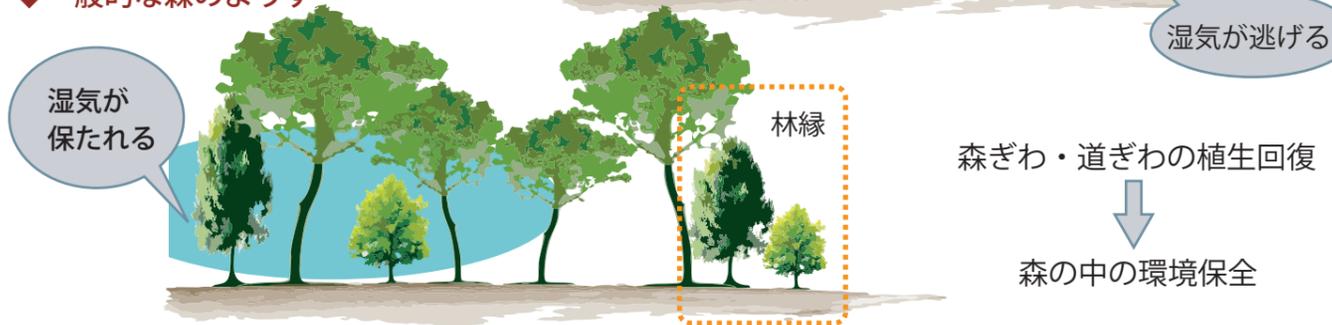
現在、施工ワーキングでは、道路ぎわの植生回復に取り組んでいます。その中で今回は、林縁といわれる「森ぎわ」「道ぎわ」の植生回復にスポットを当てて、紹介します。

### 林縁(森ぎわ・道ぎわ)とは?

#### ◆林縁がない場合



#### ◆一般的な森のようす

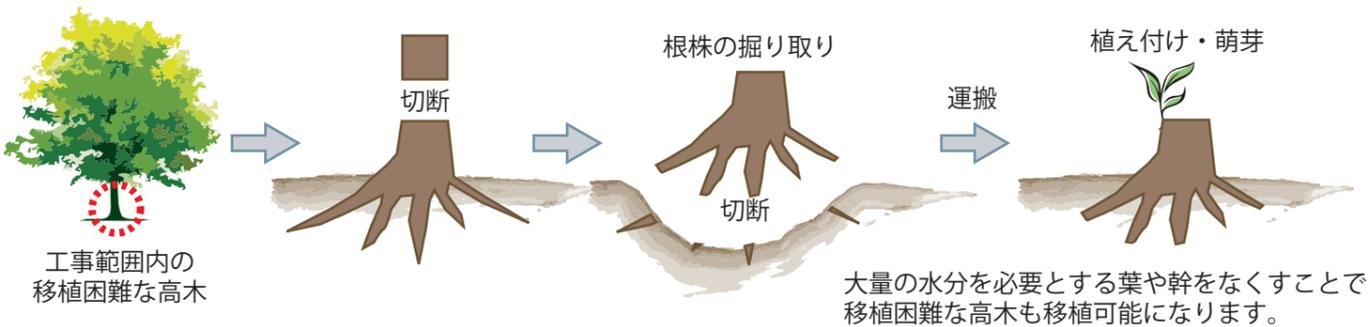


### 森ぎわ・道ぎわの植生回復

弥富相生山線の森ぎわ・道ぎわは、萌芽更新や根株移植、壁面緑化など現地の状況に合わせた方法で植生回復を行っています。

#### 根株移植

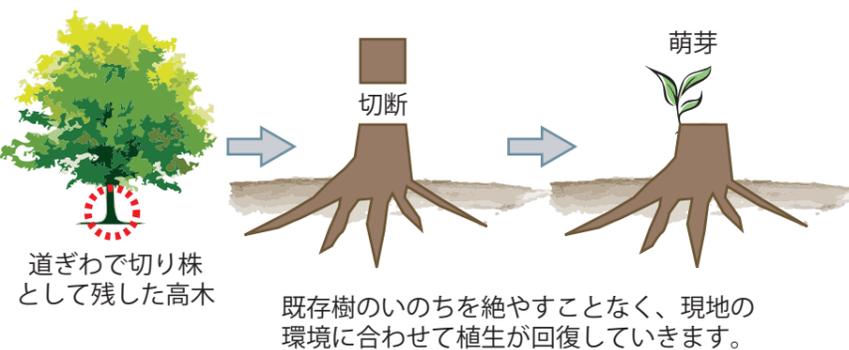
樹木の幹を切断して、残った幹と根を掘り取って目的の植栽場所に移動し、植え付ける植栽方法です。



大量の水分を必要とする葉や幹をなくすことで移植困難な高木も移植可能になります。

#### 萌芽更新

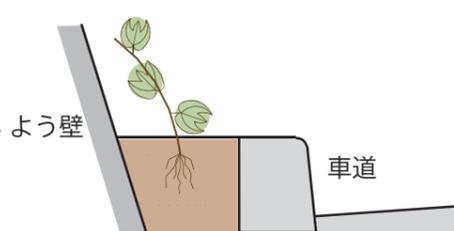
切り株で残した高木を萌芽更新によって再生します。



既存樹のいのちを絶やすことなく、現地環境に合わせて植生が回復していきます。

#### 壁面緑化

よう壁部は、ツル植物の苗を植栽します。



## 森ぎわ・道ぎわのモニタリング

### 定点写真調査

平成19年5月



平成24年5月



森ぎわ・道ぎわの植生が徐々に回復しています。

### コドラート調査

①-北 平成19年5月



平成24年5月



林床まで光が差し込むようになったため、林床に生育していたソヨゴ・カクレミノ・ヌルデが大きくなっています。道路北側の観測ポイントは、全体的に同様の傾向が見られます。

①-南 平成19年5月

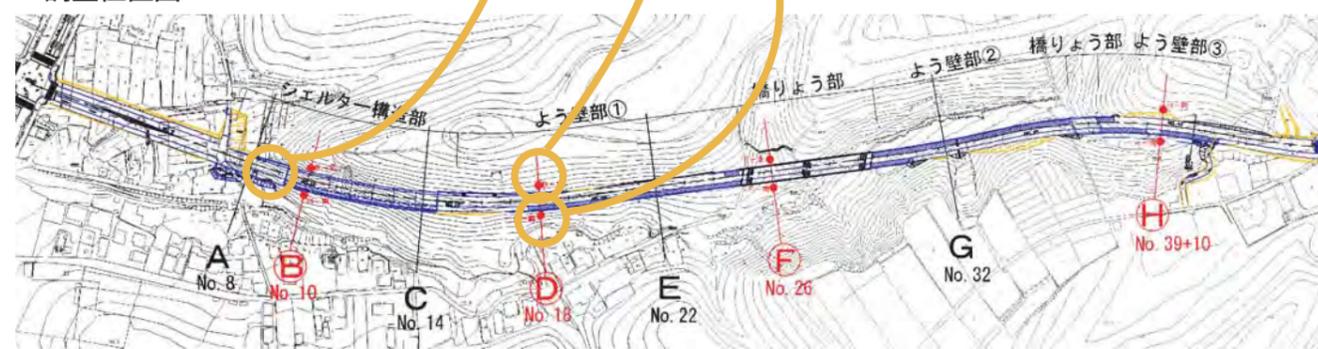


平成24年5月



道路工事が進んでも日照条件が変わらないため、大きな変化は見られません。

### 調査位置図



### 現時点で言えること

現状では、工事後の明らかな森林後退などの変化は見られません。

N



道路北側は、工事により樹林に光が差し込むようになったため、林縁の林床ではパイオニア(先駆)植物の発生が見られます。

道路南側は、林縁の南側に既存の樹林が残っているため、日照条件に大きな変化がなく、緑地の改変による植生の変化は見られません。

S

相生山の森はもともと八事層の乾燥した土地に発達した森であるため、工事によって急激に樹林地の奥まで乾燥化が進むといった変化は起こりにくいと考えられます。